

行政の窓

18年ぶりに道産材供給率が50%を超えました！

この度、平成18年度北海道木材需給実績を取りまとめましたのでお知らせします。

平成18年度は道産材供給量が増加し、道内で使用する丸太の総供給量のうち道産材の占める割合（道産材供給率）が50%を超える状況になっています。

【需要について】

18年度の需要量は、製材用及び合板等は若干増加しましたが、パルプ用は輸入原料が減少し、17年度実績（828万m³）とほぼ同じ827万m³となりました。

なお、北海道の木材需要量は18年全国需要量の9%を占め、うちパルプ用の割合が全国に比べて高く55%となっています。（18年全国需要量のパルプ用割合は43%）

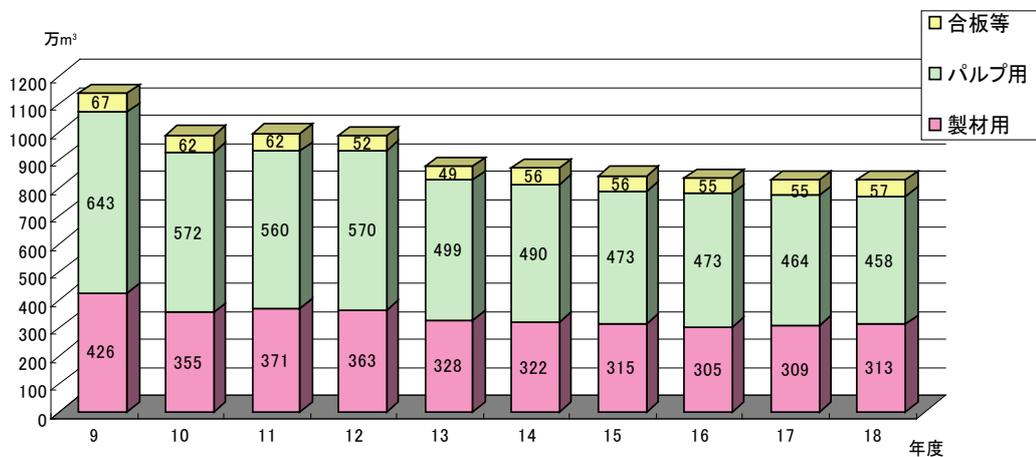


図1 需要量の動向

【供給について】

18年度の供給量は、北洋材の高騰などにより輸入丸太等が大きく減少しましたが、前年度に引き続き風倒木の出材により道産材が増加したため、17年度実績（831万m³）に対し0.4%減の827万m³となりました。また、道産材供給率は過半を超え52.0%となり、17年度実績に比べ4.5ポイント上昇しました。

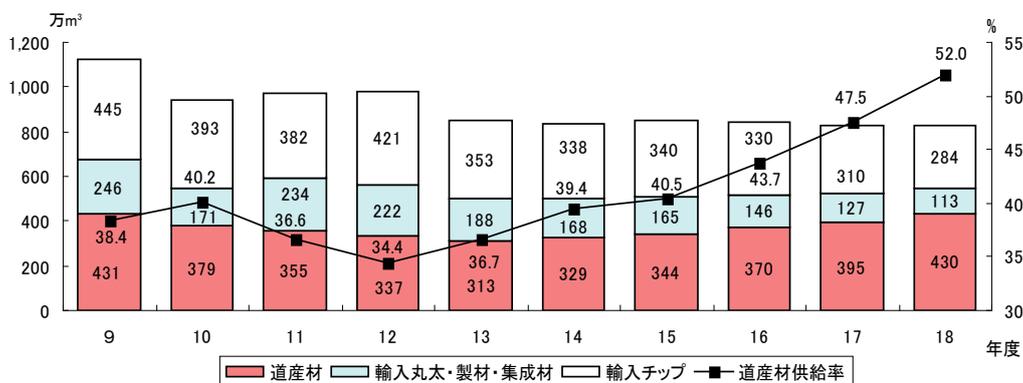


図2 供給量の動向

※数値は原木消費量または原木換算値

(水産林務部林務局林業木材課木材産業グループ)